

水田魚道設置指導者全国研修会

～ 開催案内～

1. 趣旨

国民の食の安全安心や環境に対する関心の高まりに伴い、生きものとの共生を謳ったお米などの農産物が増えてきています。「ほ場整備で田んぼの生きものが少なくなった」、「田んぼにドジョウやメダカを呼び戻したい」といった声も聞こえてきたことから、農業農村整備事業では、事業実施に際しては環境配慮が位置づけられています。近年では、多面的機能支払交付金制度を活用した地域資源の質的向上を図る活動として、「田んぼダム」「水田魚道」「鳥獣害防護対策施設」等の設置が増えてきています。

これらの事業や活動において、環境配慮のステップアップを図り、地域住民の活動の広がりや食の安全安心を通じた消費者とのつながりを強めていくことが今後ますます期待されています。

こうしたことから、水田の生きものを増やし、環境の意識醸成や環境保全型農業の推進につながる水田魚道の普及を促進するため、（一社）地域環境資源センターでは、水田魚道の設置、管理、モニタリングなどの指導者を育成する研修会を開催しています。

2. 主催者等

主催：（一社）地域環境資源センター

後援：東海農政局、岐阜県、岐阜県土地改良事業団体連合会

3. 実施日

平成 29 年 7 月 20 日（木）13:00 開始～7 月 21 日（金）13:00 頃終了（1泊2日）

4. 研修場所

1 日目 じゅうろくプラザ（岐阜市文化産業交流センター）小会議室 2（5階）

2 日目 岐阜県海津市南濃町志津地内

5. 宿泊先

宿泊される方は、JR岐阜駅周辺の宿泊施設を各自で直接確保してください

6. 対象者及び定員

都道府県、市町村、土地改良事業団体連合会、土地改良区、
多面的機能支払交付金活動組織 等

定員 30 名

7. カリキュラム

別紙のとおり

8. 参加費

(1)受講費 15,000円 (教材費、保険料含む)

(2)交流会費 4,000円 (1日目の夜、希望者のみ)

※ (1)受講費の納入は指定の銀行口座への振込のみとさせていただきます。予めご了承ください。なお、振込手数料は別途ご負担願います。

※ (2)交流会費は当日集金させていただきます。予めご了承ください。

9. 申込み

巻末の申込用紙に必要事項を記入の上、FAXまたはメールにて、以下の宛先にお送りください。申込用紙は、当センターホームページ (<http://www.jarus.or.jp/> トップページ「新着情報」) よりダウンロードすることもできます。

締め切りは、**6月30日(金) 17:00**とさせていただきます。

※本研修は農業土木技術者継続教育プログラムのCPD 認定申請中です

10. 申込の受理および受講決定

お申し込みは先着順に受理します。定員になり次第、締め切りとします。

受講決定及び詳細は、**7月7日(金)**頃にご連絡させていただきます。

※参加者には研修会の事前案内と受講費の請求書を郵送します。

(一社) 地域環境資源センター 農村環境部 (担当：藤田)

【お問い合わせ電話番号】 03-5425-2461

【FAX宛先】03-3432-0743

【メール宛先】y.fujita@jarus.or.jp

1日目集合場所位置図

交通のご案内



■場所

じゅうろくプラザ 小会議室2
(岐阜市文化産業交流センター5階)

■住所

〒500-8856
岐阜県岐阜市橋本町1丁目10番11
TEL:078-918-5611

■交通機関

J R岐阜駅隣接 徒歩2分
※駐車場は有料(自己負担)です。
空きの無い場合もありますので、
公共交通機関でお越し下さい。

2日目現地研修位置図



■場所

岐阜県海津市南濃町志津 地内

■交通機関

J R岐阜駅から主催者が用意する
バスで送迎
(所要時間:片道約60分)
※研修会場には駐車場がないため、
送迎バスをご利用下さい。

集合・解散について

集合・解散は以下のとおりとなります。(詳細は事前案内にてお知らせします)

◎1日目 研修会場集合、解散 (研修会場はJ R岐阜駅隣接徒歩2分)

集合時間 13:00 (受付:12:30~) ※昼食はすませてからお集まり下さい

解散時間 17:00頃を予定 ※1日目の研修終了後、交流会を予定

◎2日目 J R岐阜駅集合、解散

集合時間 バスで送迎しますので、8:00頃にJ R岐阜駅集合場所へお集まり下さい。

※詳細な集合時間・場所については事前案内で、お知らせします。

解散時間 13:00頃を予定

カリキュラム

	時間	講義・実習等	内容
1 日 目	13:00～ 13:10	主催者挨拶	
	13:10～ 13:40	・講 師 岐阜県水産研究所 専門研究員 米倉 竜次	岐阜県における河川・農業水路・水田 における生態系ネットワークの現状 と課題
	13:40～ 14:10	・講 師 東海タナゴ研究会 北島 淳也	地域住民で取り組む、水田魚道を通じ た村づくり ・ウシモツゴイタセンパラの棲む下池 (下池地域の水環境) ・魚と田んぼ、人をつなぐ水田魚道 ・水環境管理の構築と村づくり
	14:10～ 14:35	質疑応答・休憩時間	
	14:35～ 15:25	・講 師 メダカ里親の会 事務局長 中茎 元一	水田魚道を普及しよう ～その現状と課題～ ・水田魚道の必要性 ・水田魚道の現状と課題の紹介 ・水路魚道の現状と課題 ・栃木での取組事例
	15:25～ 16:15	・講 師 ナマズのがっこう 事務局長 三塚 牧夫	水田魚道の開発・普及と波付U型、 丸型の設置方法と管理について ・水田魚道の開発経過 ・水田魚道の開発方針 ・水田魚道の設置方法 ・水田魚道の管理方法
	16:15～ 17:00	質疑応答・事務連絡	
2 日 目	8:00～ 9:00	集 合・移 動	
	9:00～ 12:00	講 師 三塚 牧夫 中茎 元一 水田魚道の設置と遡上調査の やり方の実習（屋外）	・波付のU型
	11:30～ 12:00	修了証授与・記念撮影	
	12:00～ 13:00	移 動・解 散	

※カリキュラムは当日変更する可能性があります。